



エアロゾルセミナー 質量分析装置を用いた大気エアロゾルの連続成分分析法

日本エアロゾル学会・国立環境研究所 共催

近年、大気中の粒子状物質の観測のため、エアロゾル粒子を連続的に成分分析する手法の開発が盛んになっております。健康影響を考え、未知の粒子状物質測定をする場合、濃度や粒度分布に加えて、その粒子を構成する成分を連続測定することの意味は大きいと考えます。その中でも質量分析装置を用いた大気エアロゾルの連続成分分析法は欧米では研究段階から応用へ進んでいることは先のエアロゾル科学技術研究討論会でも紹介されておりました。わが国でも輸入製品や試作などにより観測に利用され始めております。

今回以下に示すような国立環境研究所大気圏環境研究領域 大気反応研究室で導入中のエアロゾル質量分析装置 (AMS) の紹介とそのメーカーである米国エアロダイン社ワースノップ博士による大気環境への利用例についての講演を企画いたしました。併せて装置の見学も行います。大気エアロゾルや質量分析器などの測定装置にご興味のある方の参加をお待ちいたします。

記

日 時：平成15年1月22日 (水) 13:30-17:30

場 所：〒305-8506 つくば市小野川16-2

国立環境研究所 温暖化棟会議室

(当日連絡先：畠山史郎 Tel: 0298-50-2502)

環境研までの交通案内：

<http://www.nies.go.jp/gaiyo/kotu/index.html>

所内の地図：

<http://www.nies.go.jp/gaiyo/sisetu/index.html>
会議室は正門すぐそばの地球温暖化棟にあります。

次 第

- 1) アジア域における大気中の有機エアロゾルと AMS
国立環境研究所 高見昭憲 氏, 畠山史郎 氏
13:30-14:20
- 2) 大気中の粒子状物質のエアロゾル質量分析装置を用いた計測
米国エアロダイン社 ワースノップ 氏
14:30-15:30
(Dr. Douglas R. Worsnop, Aerodyne Research Inc.)
- 3) 国立環境研究所実験施設見学 15:45-16:30
光化学反応チャンバーおよびエアロゾルチャンパーと AMS
- 4) 質疑討論 16:30-17:30

会 費：1,000円 (資料代)

定 員：50名

連絡先：申し込みは下記まで電子メールか FAX でお願いたします。

三浦和彦 (東京理科大学理学部物理学教室)

Fax: 03-3269-3383

E-mail: miura@rs.kagu.sut.ac.jp